

# 生活科学習指導案

帯広市立啓西小学校 2年2組 児童27名

指導者 森谷 栄介

## 1 単元名

ぐんぐん のびろ

## 2 単元の目標

- 身近な植物に興味・関心を持ち、それらに生命があることに気付くとともに、植物を大切にすることができるようになる。

## 3 指導計画

	目 標	主な学習活動	評価規準と評価方法
1	ひまわりの生長を喜び、前回の観察時との違いに気づくことができる。	・ひまわりを観察し、生長ぶりをカードにメモする。	<b>【気づき】</b> 植物の生長の様子について進んで観察している。 (カード・発言)
2 (本時)	ひまわりを育てながら気づいたり感じたりしたことを自分なりの方法で進んで表現することができる。	・観察したことをはがき新聞にまとめる。	<b>【関・意・態】</b> ひまわりの生長に関心を持ち、意欲的に新聞にまとめている。(態度) <b>【思・表】</b> ひまわりの生長の様子や、自分の気づきについて、自分なりの表現であらわすことができる。(新聞)

## 4 新聞づくりのねらい

本単元において、児童はひまわりやミニトマトの観察を行うごとに、はがき新聞づくりに取り組んでいる。

長い文章を書くことを苦手としている児童も多いが、短い文章で伝えたいことを表現するはがき新聞の特徴が本学級の児童の実態には適していると考え、「～だったよ。」というように、誰かに話しかけるような表現を用いることで、書くことに対する抵抗をそれほど感じずに書くことができている。

また、自分の写真を用いたり吹き出しを使ったりとレイアウトを工夫することで、楽しみながら活動することができている。できあがった新聞をカラーで印刷することで、完成した喜びや充実感がより高まり、お互いに作品を見合うことが次回の活動の更なる意欲付けにもつながっている。手軽に見栄えのする作品に仕上げることができるのはがき新聞の特性が、観察記録を繰り返してついでいく本単元の活動に適していると考え、新聞づくりを取り入れることにした。

5. 本時の学習について

(1) 本時の目標

ひまわりを育てながら気づいたり、感じたりしたことを、はがき新聞にまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・ひまわりの生長に関心を持ち、意欲的に新聞にまとめている。
- ・ひまわりの生長の様子や、自分の気づきについて、自分なりの表現であらわすことができる。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	教師の支援 (○) と評価 (◎)
課 題 把 握	1 前時のひまわりの観察結果を交流する ・ひまわりの花が咲いた ・黄色い花だった ・かわいらしくさいたよ ・高さはこれくらいだったよ 2 本時の課題を知る	○観察したことを具体的な言葉におきかえて表現できるよう、板書しておく  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             かんさつしたことをはがき新聞にあらわして、友達にみてもらおう！           </div>
課 題 追 求	3. はがき新聞づくりに取り組む ・トップ記事の見出しを考える ・観察結果をトップ記事として書く ・観察した時の自分の思いを吹き出しに書く ・イラストを描いたり色を塗ったりして仕上げる ・印刷をする 4. 出来上がった児童からはがき新聞を見合い、交流する	○丁寧に文字を書くよう声かけをする ・まちがえた時は修正液を使用する ○書くことを思いつかないときには、板書してある中から、自分の思いに近いものを選ばせる ◎観察したことを、意欲的に新聞にまとめようとしている (関) ◎ひまわりの生長の様子や、自分の気づきについて、自分なりの表現で新聞に表している。(表)  ○良さを認め合えるように支援する
ま と め	5. 本時の学習を振り返る ・頑張ったことや、うまくできたことを発表する	○頑張りや良さを具体的な言葉におきかえて振り返られるよう支援する ○完成しなかった児童の頑張りも認め合えるようにする